

PDA 第9回首都圏公立高等学校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年11月20日（日）12:00-17:30

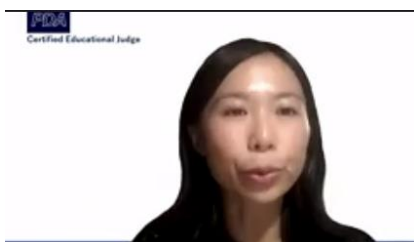
会場：オンライン（Zoom）

参加校：9校、9チーム（東京都立日比谷高等学校、東京都立西高等学校、東京都立三田高等学校、神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、千葉県立千葉高等学校、千葉県立船橋高等学校、埼玉県立浦和第一女子高等学校、埼玉県立浦和高等学校）

参加者：生徒50名、教員14名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、北海道教育大学、東京大学、京都大学

開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事・中川智皓より、「今日はPOI（Point of Information：相手チームに質疑応答を要求するルール）をする・POIを受けて返答するということにチャレンジして、ぜひ議論を深めてください。」とメッセージが送られました。次に、東京都立西高等学校・萩原校長先生より、「考えたことを英語で発信していく力はとても大切です。お互いの発表を聞いて、どう考えたのかについて英語を使ってしっかり伝えるよう頑張ってください。」とご挨拶いただきました。その後、PDAスタッフより、これまでの首都圏交流大会の紹介や、参加校の紹介、評価基準の説明、そしてPOIの練習を行いました。



PDA 代表理事・中川智皓によるご挨拶



都立西高校長・萩原先生によるご挨拶



元気よく「POI！！」

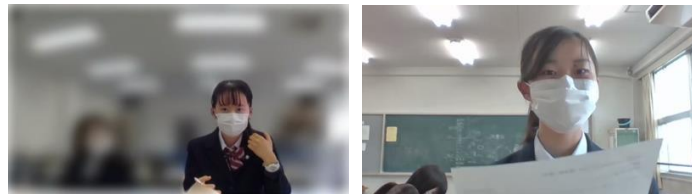
POIの練習が終わると、早速第1ラウンドの始まりです。第1ラウンドのお題は「*Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.* (園や学校の運動会での順位付を廃止すべきである。)」でした。準備時間中、校長先生の集合写真撮影を行いました。



校長先生集合写真

準備時間が終わると、いよいよディベートの始まりです。幼稚園・小学校時代の経験が将来にどう影響するのか、順位付けがなければ園児・児童のモチベーションは上がらないのかなどについて具体的に描写をしながら説明しました。また、子どもだけでなく、その子どもを指導する立場にある先生が運動会でどのような役割を果たすのかなどについても分析したチームもあり、様々な登場人物に焦点を当ててスピーチをすることができていました。

ディベート後、ジャッジによるコメントを待っている間、「何年生ですか?」「どうやって英語の勉強をしていますか?」「部活は何をしていますか?」「甘いもの好きですか?おすすめのスイーツありますか?」などさまざまな話題で交流を深めました。



アイコンタクトやジェスチャーを駆使したスピーチ(日比谷高校 VS 県立船橋高校)



ディベート後の交流



エアー握手 (県立千葉高校 VS 湘南高校)

続く第2ラウンドのお題は、「*Animal experiment should be abolished.* (動物実験を廃止すべきである。)」でした。肯定側は、動物も人間のように尊重すべきだと主張し、否定側は、人間のためにはある程度動物の権利は妥協すべきだと主張しました。途中、「普段、お肉を食べるのになぜ動物実験はダメなのか。」とPOIでたずねるなど、両チームとも「動物の権利」をどこまで認めるべきかについて議論しました。



POI！（県立千葉高校） ジャッジコメント(都立西高校 VS 浦和第一女子高校)



エアー握手（柏陽高校 VS 県立浦和高校）

休憩を挟み、第3ラウンドの開始です。論題は、「*Japan should possess nuclear weapon.* (日本は核兵器を保有すべきである。)」でした。論題の「日本」に着目し、国際関係の観点や、被爆国日本の「平和」を追求する義務の観点から議論が行われました。ディベート後はお互いの健闘をたたえ、エアー握手を交わしました。



POI！（浦和第一女子高校）



スピーチの様子(浦和第一女子高校)



エアー握手（都立西高校 VS 県立船橋高校）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*Anonymous writing on the Internet should be prohibited.* (インターネット上の匿名での書き込みを禁止すべきだ。)」でした。肯定側は、匿名性によって無責任な書き込みや他者を攻撃する書き込みが発生する問題を取り上げ、否定側は、匿名で書き込みができるからこそ、悩みを相談できるなどのメリットがあると説明しました。POI を通した質疑応答もあり、白熱した議論となりましたが、ディベートを観戦していた生徒が挙手で投票し、否定側の勝ちとなりました。



エキシビジョンディベートでも POI ! アイコンタクトをして堂々とスピーチ

閉会式では、表彰式ののち、神奈川県立柏陽高等学校・井坂校長先生よりご講評いただきました。『協働的な学び』を体現できていた交流大会でした。そういう場を作る意識がとても良かったです。これからも頑張ってください。」と激励のお言葉をいただきました。そして、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事・中川智皓より、『『誰も取り残さない』という SDGs のゴールに関わる活動だったと思います。今後の活動にぜひ活かしてください。』とご挨拶いただきました。最後に、今回 3 回ベスト POI に選ばれた生徒が代表して本日の感想を述べ、第 9 回 PDA 首都圏公立高等学校即興型英語ディベート交流大会は終了しました。



柏陽高校長・井坂先生によるご講評

(学校での様子)



県立千葉高校



浦和第一女子高校



柏陽高校



日比谷高校

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

- ・ PM 湘南高校 _____さん
- ・ LO 県立千葉高校 _____さん
- ・ MG 浦和第一女子高校 _____さん
- ・ MO 柏陽高校 _____さん
- ・ LOR 日比谷高校 _____さん
- ・ PMR 三田高校 _____さん



エキシビションディベータ賞

〈チーム賞〉

- ・ 1位 埼玉県立浦和高等学校
- ・ 2位 神奈川県立柏陽高等学校
- ・ 3位 埼玉県立浦和第一女子高等学校
- ・ 4位 東京都立日比谷高等学校
- ・ 5位 東京都立三田高等学校



1位 埼玉県立浦和高等学校



2位 神奈川県立柏陽高等学校



3位 埼玉県立浦和第一女子高等学校



4 位 東京都立日比谷高等学校



5 位 東京都立三田高等学校

〈ベストディベーター賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ _____さん（柏陽）★
- ・ _____さん（三田）★
- ・ _____さん（湘南）★
- ・ _____さん（柏陽）
- ・ _____さん（日比谷）
- ・ _____さん（日比谷）
- ・ _____さん（日比谷）
- ・ _____さん（県立船橋）
- ・ _____さん（県立船橋）
- ・ _____さん（西）
- ・ _____さん（湘南）
- ・ _____さん（県立千葉）
- ・ _____さん（県立千葉）
- ・ _____さん（浦和一女）
- ・ _____さん（浦和一女）
- ・ _____さん（県立浦和）
- ・ _____さん（県立浦和）
- ・ _____さん（県立浦和）



ベストディベーター賞

〈POI 賞〉★は2回以上選ばれた生徒

- ・ _____さん（日比谷）★
- ・ _____さん（柏陽）★
- ・ _____さん（西）★
- ・ _____さん（浦和一女）★
- ・ _____さん（柏陽）
- ・ _____さん（日比谷）
- ・ _____さん（三田）
- ・ _____さん（湘南）
- ・ _____さん（県立千葉）
- ・ _____さん（浦和一女）
- ・ _____さん（県立浦和）
- ・ _____さん（県立浦和）



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・校外の方と、ディベートできる貴重な機会でした。（三田高校）
- ・たくさんのことを学べて良かったが疲れた。（柏陽高校）
- ・充実した1日になって楽しかった。（県立浦和高校）
- ・すごく色々な高校の人とディベートができて楽しかったです。また、皆さんの英語力を目の当たりにしてとても刺激を受けました。多くのことを学べたので機会があれば参加したいです。（日比谷高校）
- ・ありがとうございました。普段の仲間以外とディベートをしたことで、良い刺激になりました。（浦和第一女子高校）
- ・自分の意見を去年よりも英語で伝えることができて、自分の成長を感じた。（県立船橋高校）
- ・普段は交流することのない他校と、このような機会を通して接することで、互いに刺激を受けられたのではないかと思います。より英語学習の経験を積みたいと思いました。（日比谷高校）
- ・様々な高校の方々と対戦することができ、自分達の弱点が発見できて有意義な体験だった。（柏陽高校）
- ・いろんな人とディベートできて楽しかったです。（三田高校）
- ・他の学校の人と交流することは初めてだったので楽しかった。ほかの学校のレベルの高さにびっくりしたのでこれからもっと練習していきたいと思った。（県立千葉高校）
- ・普段あまり練習試合の機会がなかったので、強い高校とたくさん対戦できて本当に刺激になったし、たくさん学びと発見があって楽しかったです！（県立千葉高校）
- ・単純に疲れたなという気持ちでいっぱいですが、他校の人と交流するのは楽しかったです。（湘南高校）
- ・すごくレベルの高い方々と試合ができて、新しい発見等も学べて有意義な時間になりました。（湘南高校）
- ・日本語でディベートをするのも難しいなか、英語で行うという、もう一手間加える作業が入るだけでより大変になるのだと実感しました。また、自分はまだまだであるということを実感しました。もっと勉強してもっとひとつのトピックについて深められればと思います。ありがとうございました。（日比谷高校）
- ・同じ首都圏の公立高校だけれど、自分とは全然レベルが違う人がたくさんいて凄いと思った。とても良い刺激になった。（県立船橋高校）
- ・短い時間で思考する能力が高まってとても有意義でした！（県立船橋高校）
- ・集中して長い時間頭を使うことが久しぶりで、新鮮な経験でした！（都立西高校）
- ・初心者でしたが、即興型英語ディベートの楽しさを知ることができました。ありがとうございました！（都立西高校）
- ・多くの学校と交流をすることができ、刺激をたくさんもらいました。自分だけでは思いつかなかった意見もPDAの方のフィードバックで、知ることができ、いい経験となりました。（浦和第一女子高校）
- ・論題がよかった。ジャッジの皆さんのアドバイスが参考になった。（教員）
- ・楽しく交流ができ、生き生きとした生徒の姿を見ることができました。（教員）